



個人投資家様向け会社説明会

データセクション株式会社

2022年7月23日

証券コード：3905



1. 会社概要

2. 業績推移

3. 成長戦略

4. Appendix

1. 会社概要

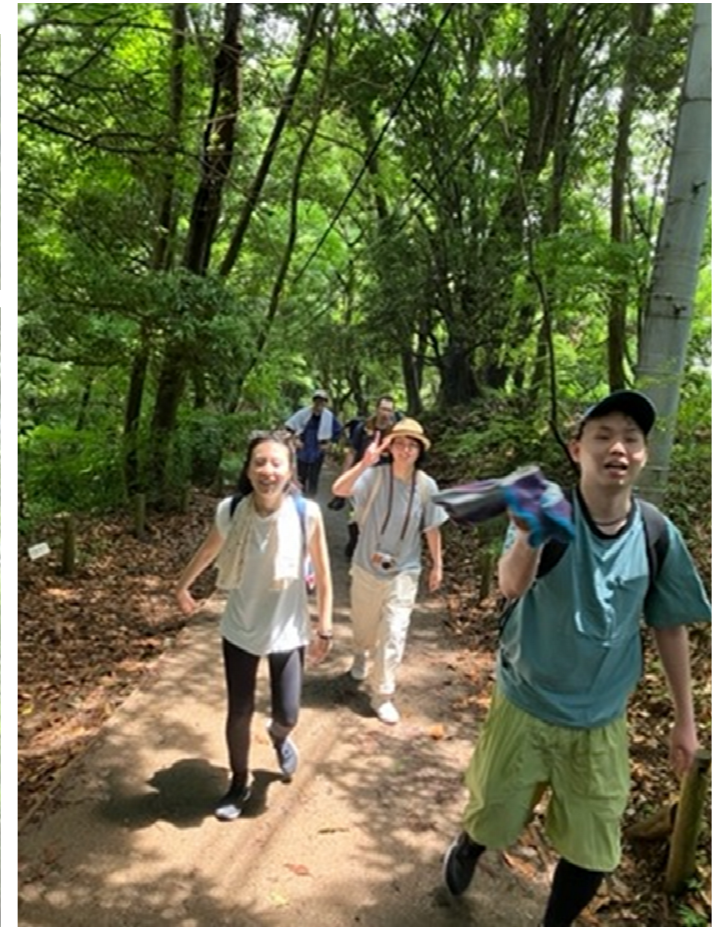
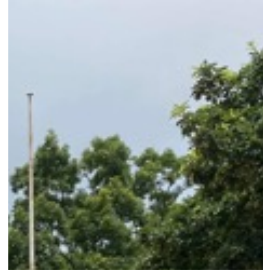
これからの成長の山を、
『共に（UNITE）』 登ろう！！



これからの成長の山を、
『共に (UNITE) 』 登ろう！！









『データ』



『セクション』



企業の『データ』『部門』

We ARE ...

世界のデータ部（セクション）として

Vision : What we will be ...

人々の暮らしを世界中でバージョンアップし続ける

Mission : What we should do...

Change the Frame

テクノロジーで実社会に変革をもたらし、
新しい暮らしをつくりあげる



新規事業

育成

医療系ビジネス
その他プロダクト開発



リテール
マーケティング
事業

成長

グローバルマーケットで顧客の
店舗DXを推進し、各種サービスを同時展開



ソーシャル
メディア分析
事業



A I ・ システム
開発事業

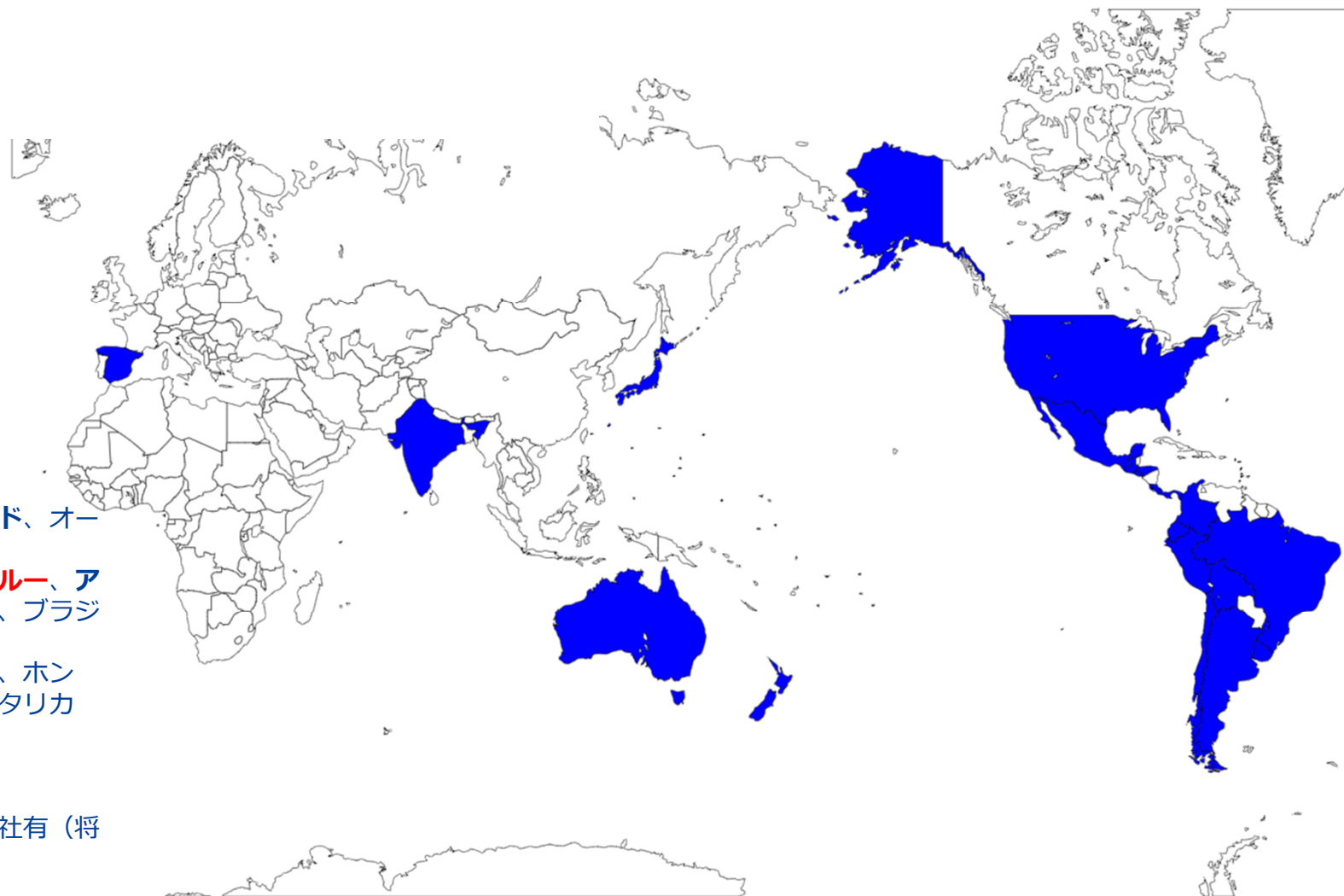
基盤

「SaaS型サービス」や
システム運用保守等ストック型が中心

自社サービスをグローバルに同時展開中

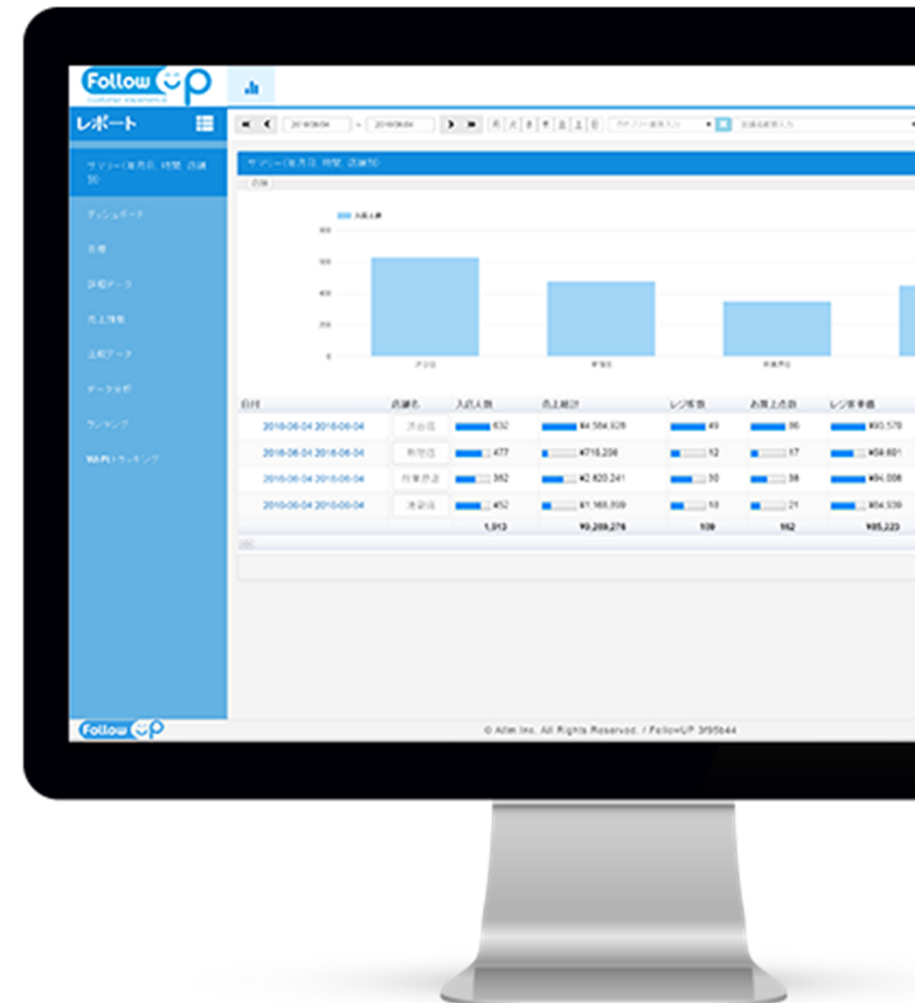
- 開発した自社サービスについて、既に世界20か国以上に同時展開中であり、今後も他地域へ拡大予定

アジア・パシフィック：日本、インド、オーストラリア、ニュージーランド
南アメリカ：チリ、コロンビア、ペルー、アルゼンチン、エクアドル、ボリビア、ブラジル、ウルグアイ
中央アメリカ：パナマ、グアテマラ、ホンジュラス、エル・サルバドル、コスタリカ
ヨーロッパ：スペイン
北アメリカ：メキシコ、USA
※赤太字：現地法人有
※青太字：投資している販売代理会社有（将来的に子会社化）

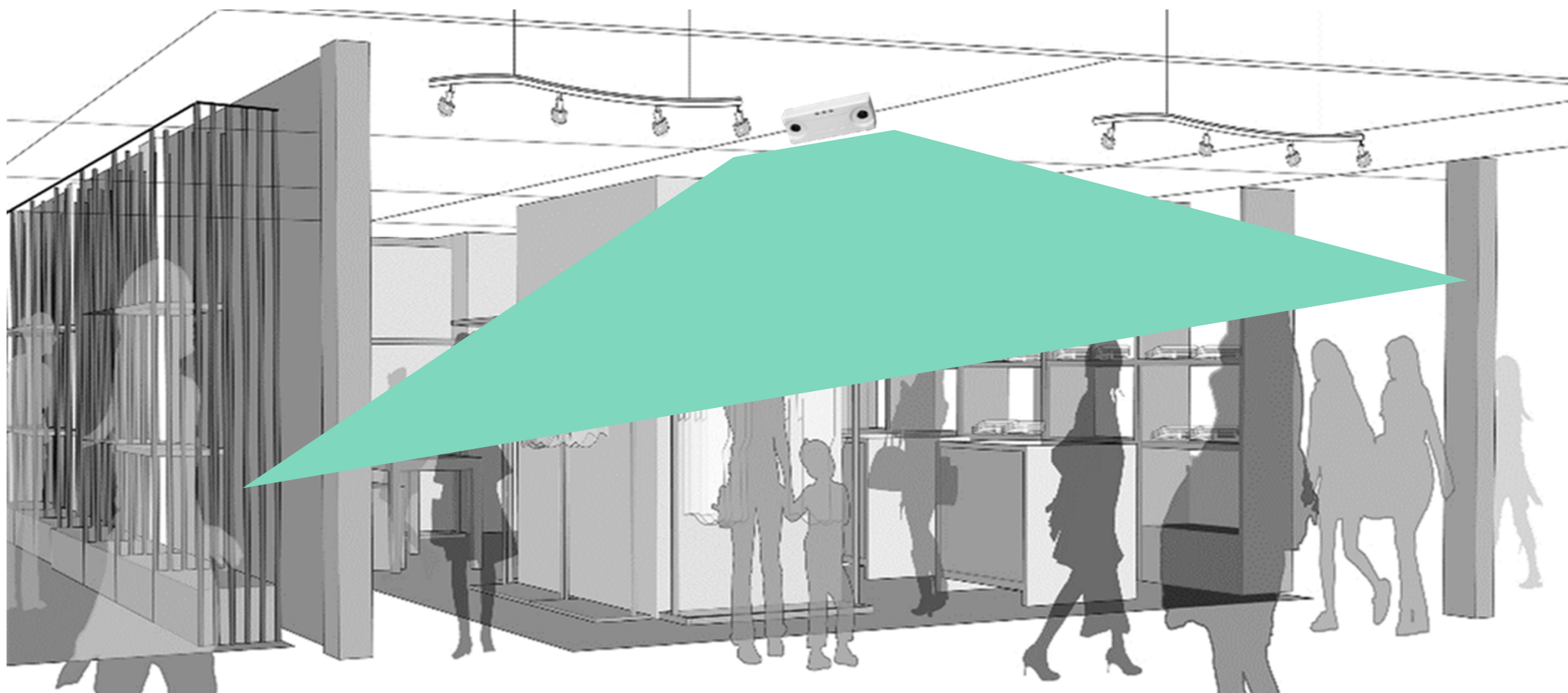




実店舗での来店客分析 ソリューション



AIカメラの画像データとPOSデータから店舗購買率向上を支援



実際の店舗での顧客の行動を分析し、店舗が抱える課題を改善

AIカメラを使い行動を可視化



店舗にAIカメラを設置し来店人数、購買行動を確認

ダッシュボードで行動分析



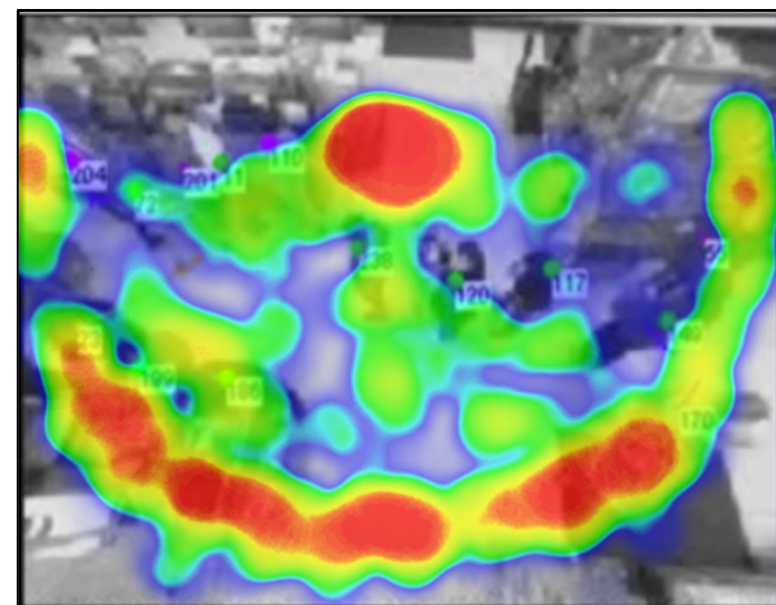
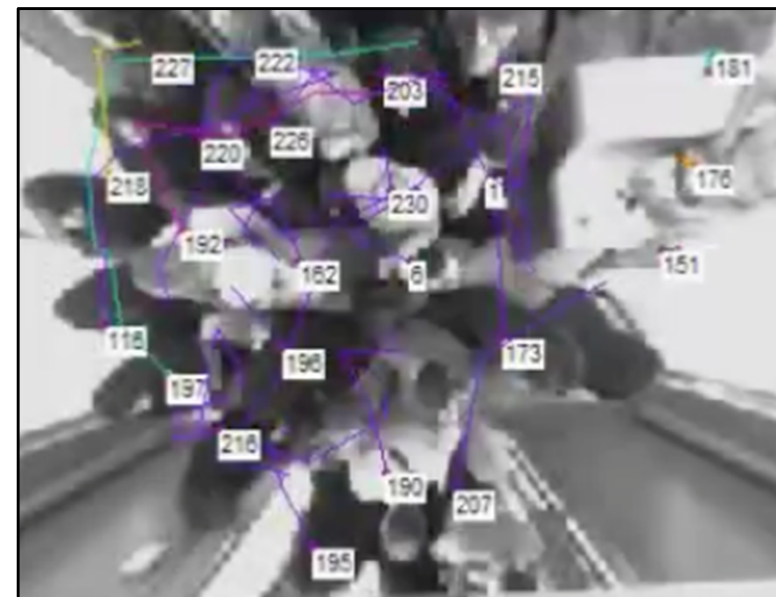
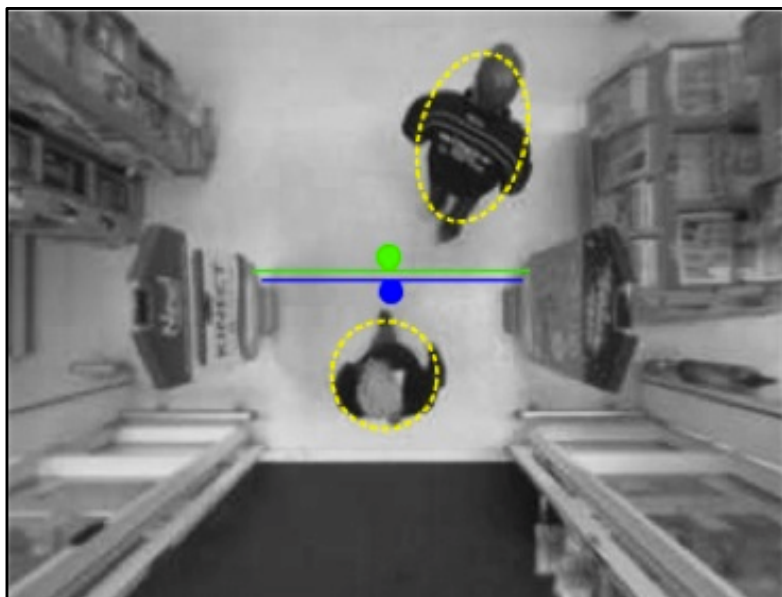
取得したデータをダッシュボードで確認。様々な切り口でデータを分析

クライアントサポート



クライアント企業等のダッシュボード活用をサポート

アパレル・ドラッグストア・スーパーマーケット等の小売業界、大型ショッピングモール等へ展開





2. 業績推移

2021年3月31日、英Financial Times社、日本経済新聞社及び独スタディスタ社が主催し、アジア太平洋地域13カ国、100万以上の企業を調査対象とした

「High-Growth Companies Asia-Pacific 2021 (アジア太平洋地域の急成長企業ランキング 2021)」において、 当社が336位にランクイン

◆ランキングは、Financial Timesの以下のページでご確認いただけます。

<https://www.ft.com/high-growth-asia-pacific-ranking-2021>

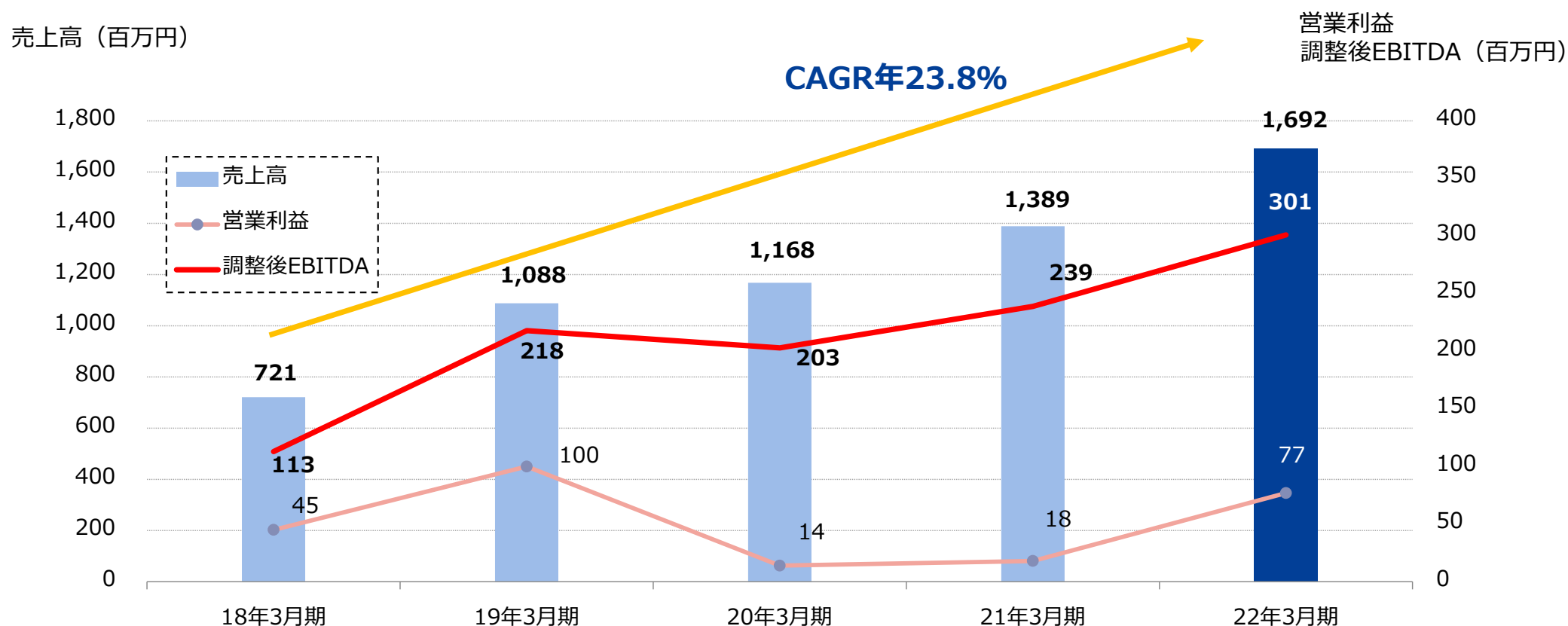
◆Nikkei Asiaにも、特集記事が掲載されております。

<https://asia.nikkei.com/Spotlight/The-Big-Story/Asia-s-hidden-high-growth-companies-reach-for-the-sky>

- ・ **過去最高売上高**（“SaaS”によるグローバルな事業成長と大幅な増収増益を実現）
- ・ **業績予想上限値に概ね近い利益水準で着地**

(百万円)	21年3月期	22年3月期					
	実績	実績	YoY (伸率)	業績予想 (下限)	業績予想 対比	業績予想 (上限)	業績予想 対比
売上高	1,389	1,692	21.8%	1,500	+192	1,900	▲208
営業利益	18	77	328.3%	▲50	+127	100	▲23
調整後 EBITDA	239	301	25.9%	NA	NA	NA	NA
経常利益	31	165	422.9%	▲60	+225	90	+75
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲41	2	-	▲116	+118	6	▲4

- 事業ポートフォリオの転換を進めながらグローバルな成長を継続
売上高は連続で過去最高値を更新（CAGR年23.8%）
- 実質的な事業キャッシュフロー創出力である**調整後EBITDA（*）も順調に伸ばし、3億円に到達（売上高調整後EBITDA比率17.8%）**

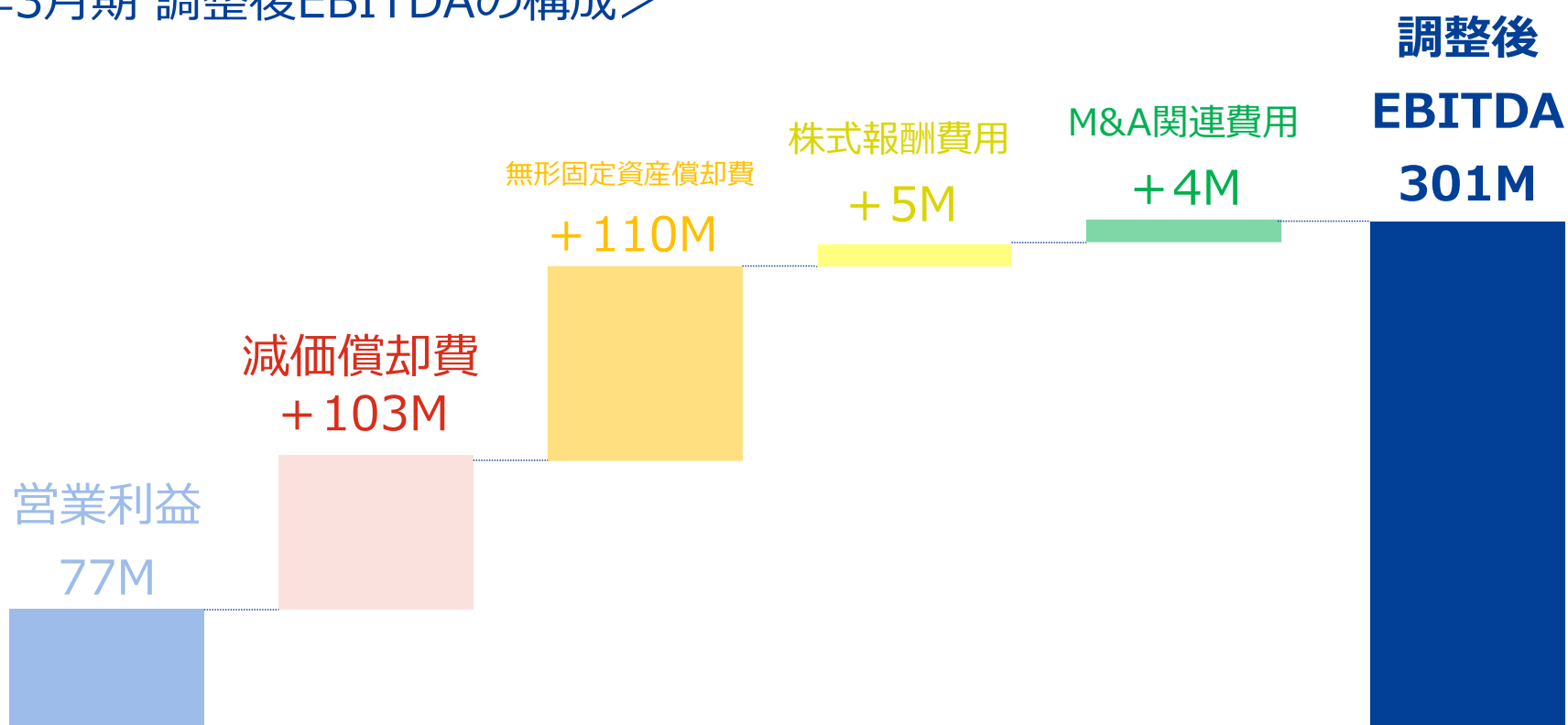


(*) 調整後EBITDAの詳細については、次ページをご参照

- 22年3月期より、グローバルにM&Aを活用し成長を図る当社グループの事業特性を踏まえ、**実質的な事業キャッシュフロー創出力である調整後EBITDAを開示指標に追加**

※調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 無形固定資産償却費 + 株式報酬費用 + M&A 関連費用

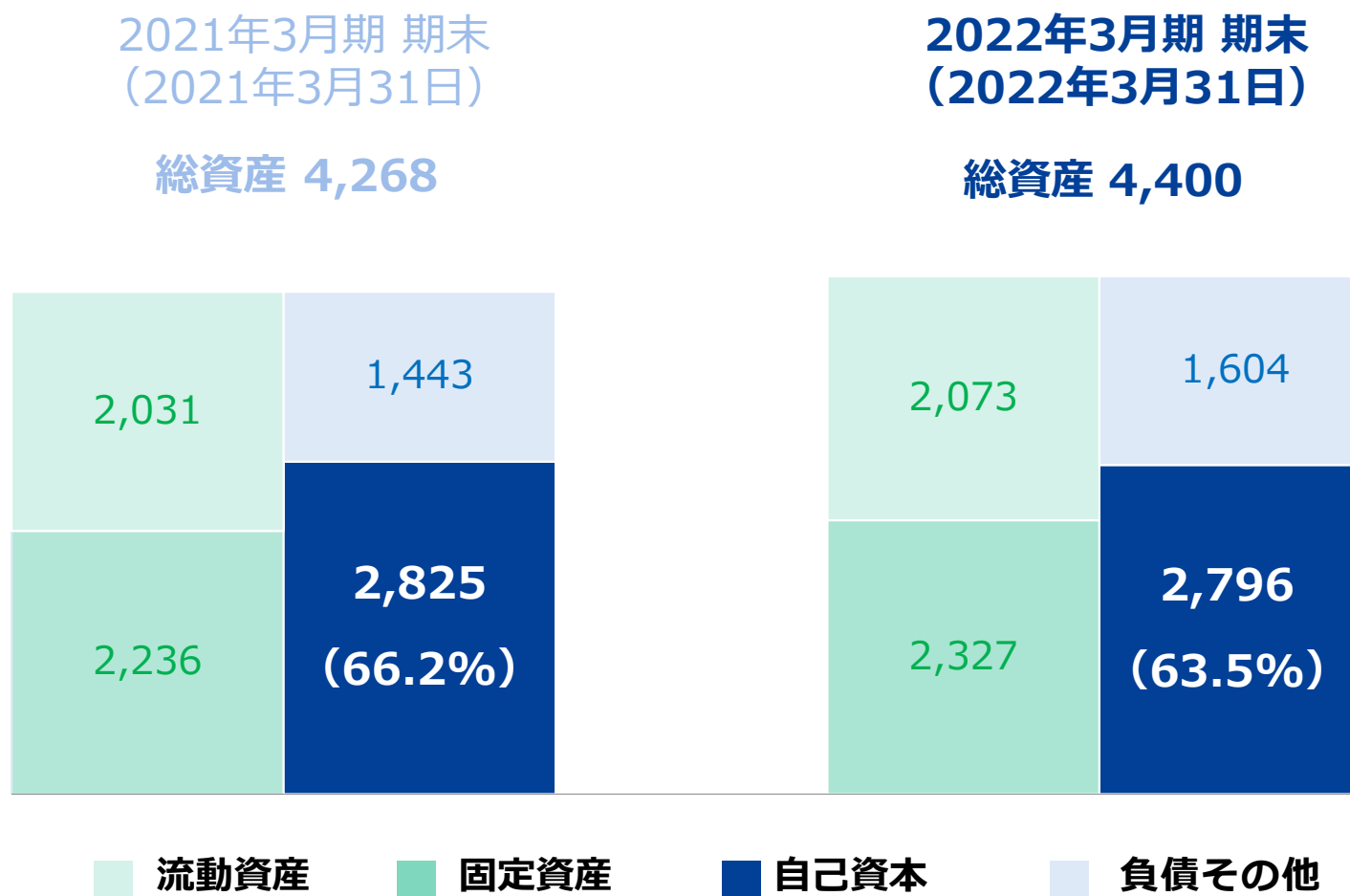
<22年3月期 調整後EBITDAの構成>



- ・ 自己資本比率は60%台半ばと高い水準で推移
- ・ 今後の成長過程においても、**安定的な財務基盤、財務規律を堅持**

<22年3月期 財政状況>

(百万円)



施策 トピックス

国内

アフターコロナを見据えた販売促進

- ・デジタルマーケティングチームの立ち上げ、およびFollowUPの営業人員の強化等

デジタルマーケティングの推進

- ・リアル店舗のDX促進メディア「店舗DX.com」をリリース
(21年9月)

海外

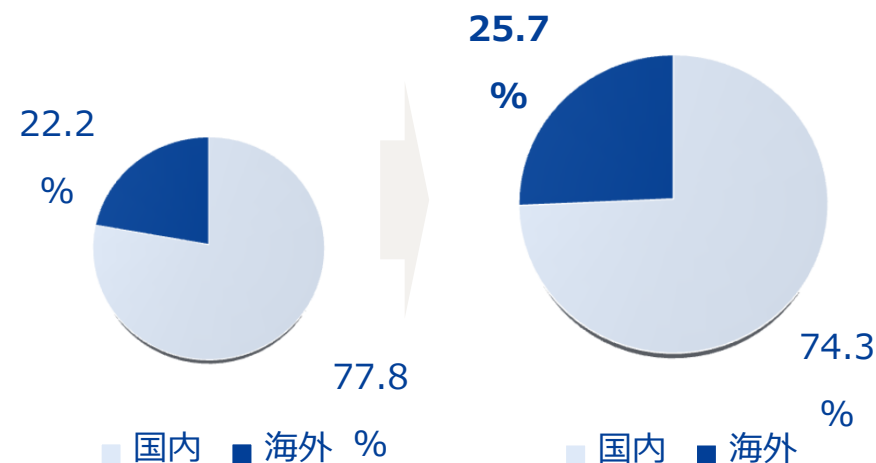
M&A・PMIの推進

- ・連結子会社であるコロンビア法人 Alianza FollowUP S.A.S. の株式を追加取得し、完全子会社化
(21年5月)
- ・チリの競合会社INTELIGENXIA S.A.を100%子会社化
(21年7月)

成果 進捗

- ・「店舗DX.com」で立ち上げ早期に**Google検索1位**を獲得
→PV数は大幅に増加
- ・**リード件数・商談件数の大幅増**
(前年比2倍超)
- ・提案精度の向上による**CVR（受注率）上昇**
(前年比約2倍)

海外売上高・比率の増加

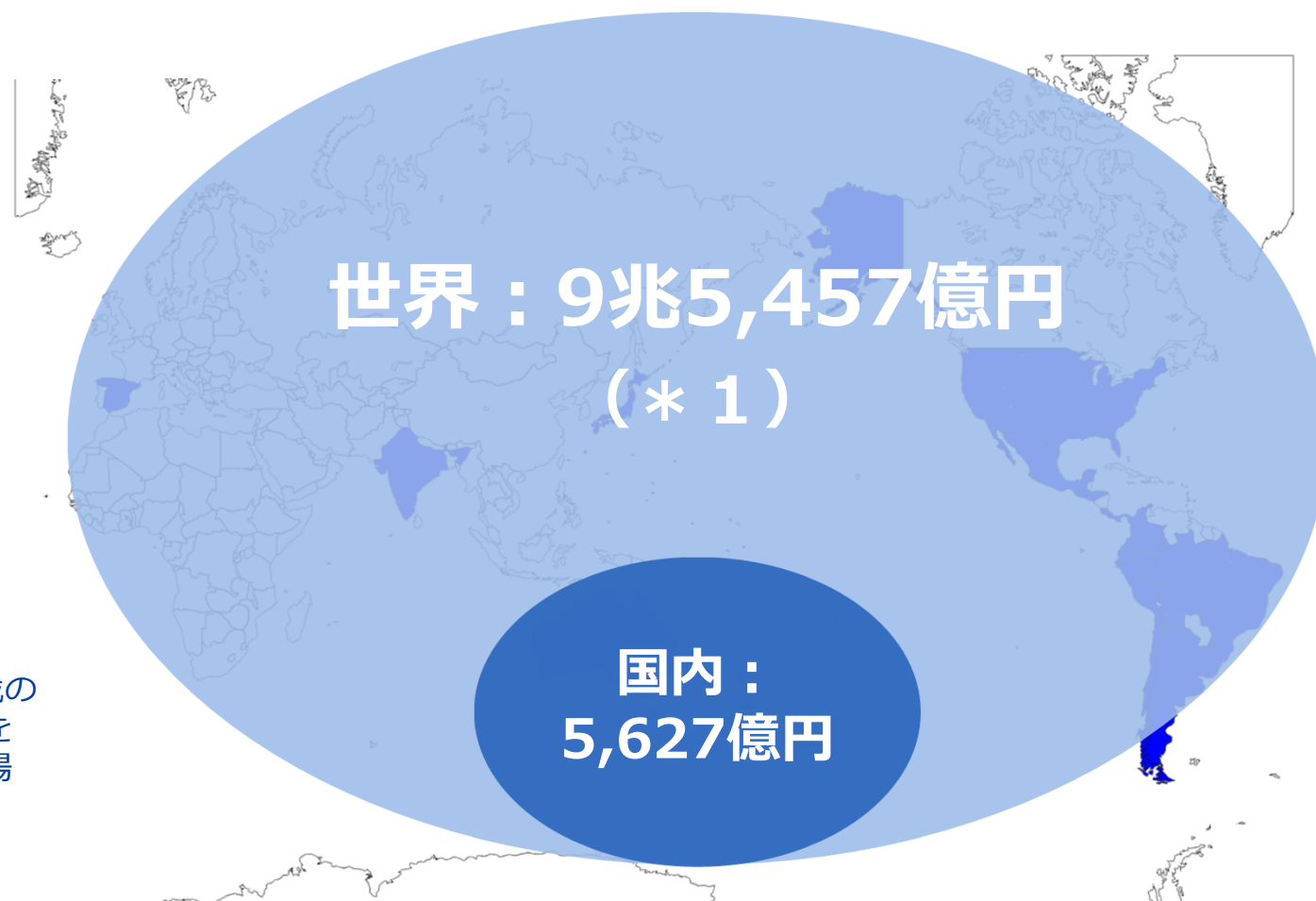


3. 成長戦略

グローバル市場の規模は約10兆円 より成長性を見込めるグローバル市場にターゲット

＜リテールテック市場規模＞

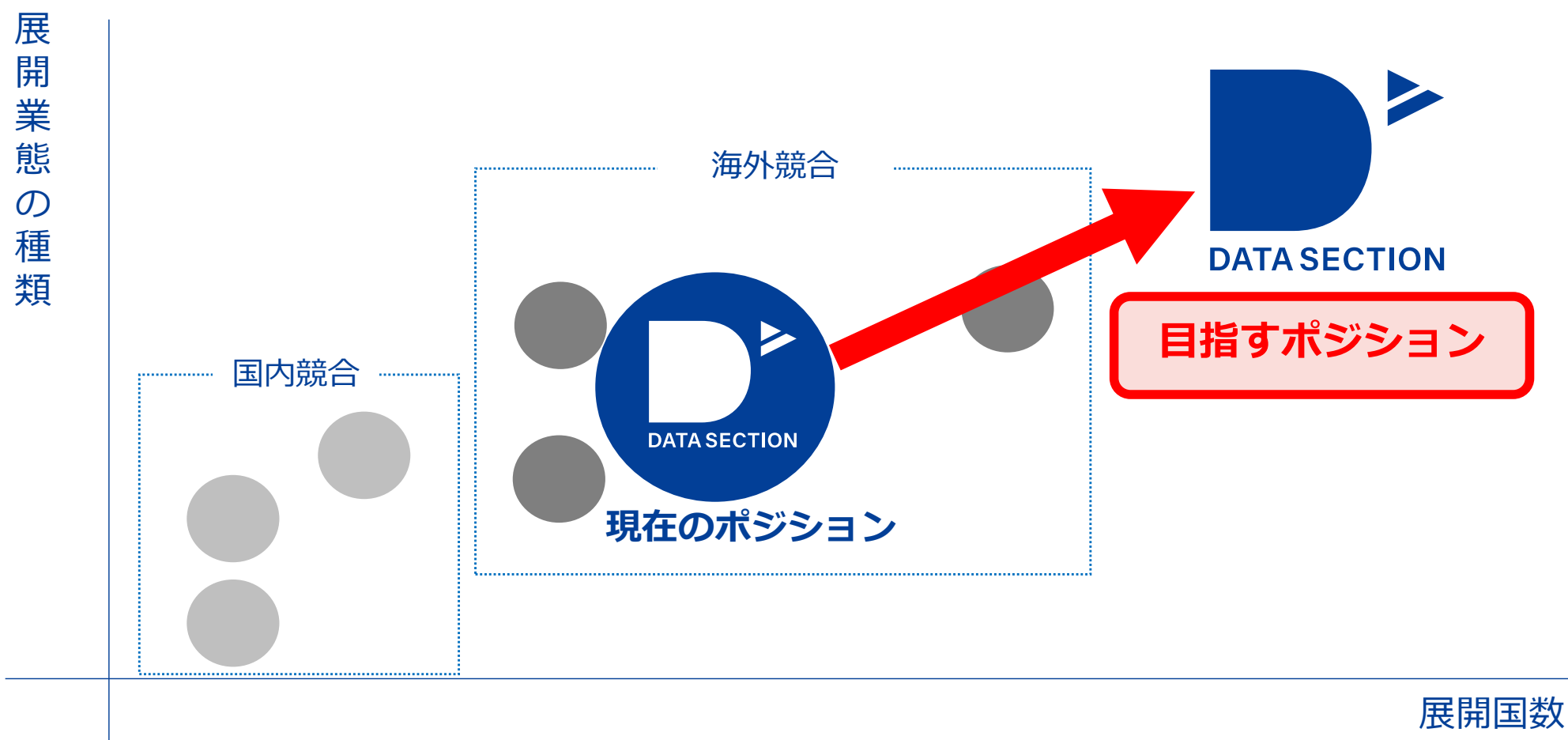
（小売・外食・宿泊業向け機器・
システム＆サービス）



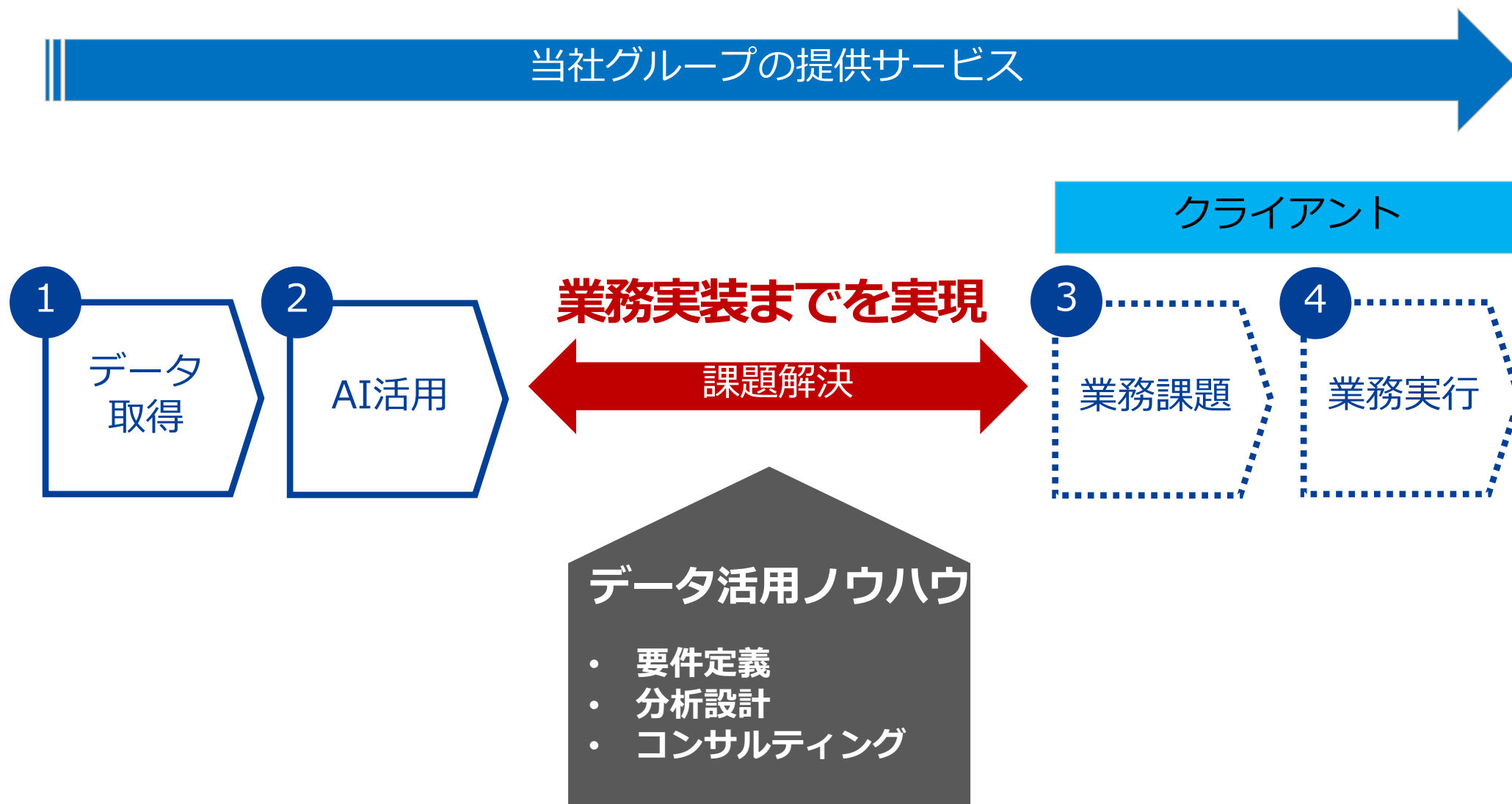
※1 富士経済「リテールテック関連機器・システム市場の将来展望 2019」掲載の国内市場規模を国内GDPで除した値を係数として各国GDPに乘じ、各国市場規模を当社算出

「展開業態の種類」「展開国数」を増加し差別化

- 強みである大容量のデータ解析技術を軸に、プロダクト開発力とグローバルでの同時展開力を活かし、小売業界からディベロッパーや大規模モール自体へ対象業種を拡大中



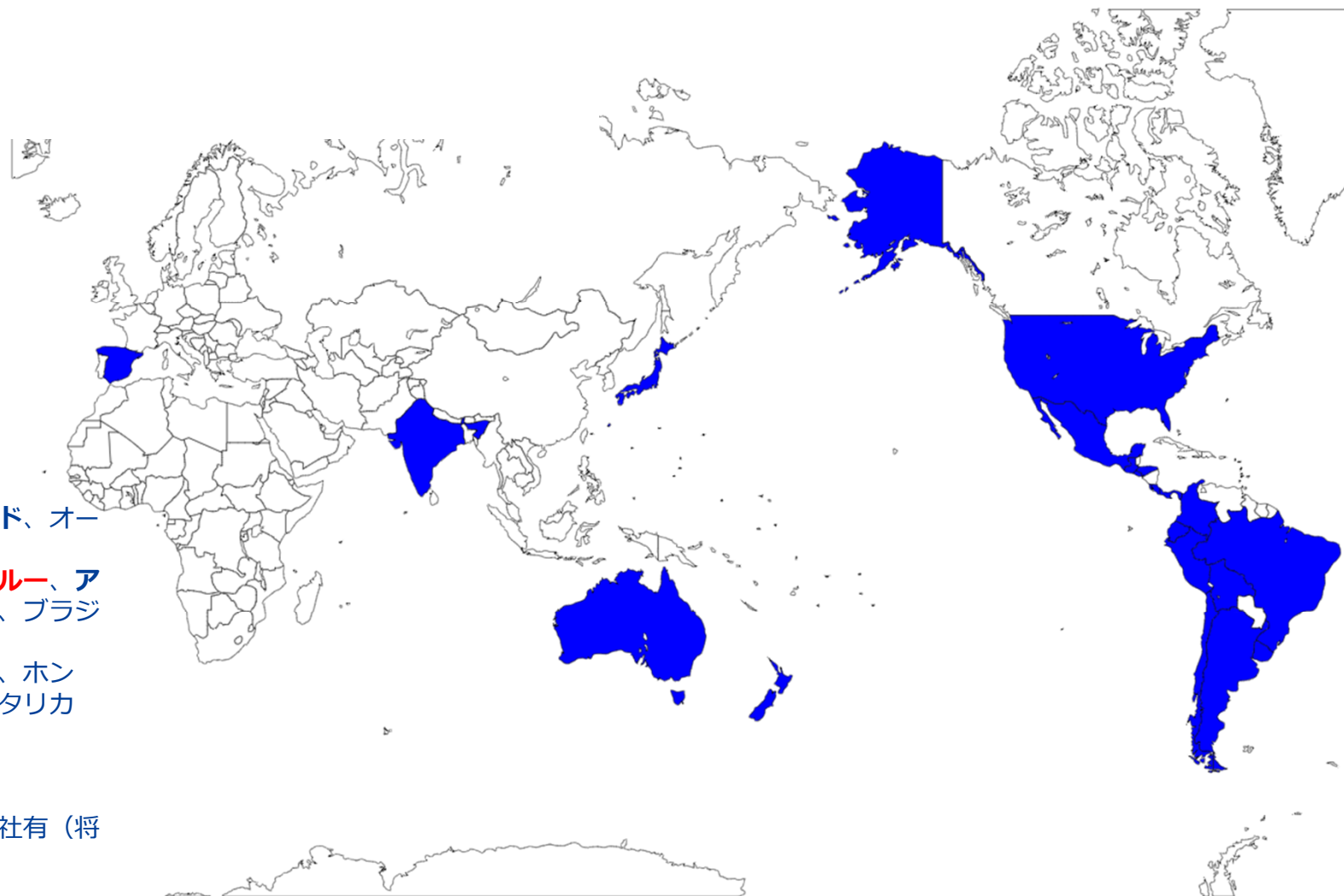
クライアントの課題に対し、「AI活用」のみならず「実装」までを実現



自社サービスをグローバルに同時展開可能

- 開発した自社サービスについて、既に世界20か国以上に同時展開中であり、今後も他地域へ拡大予定

アジア・パシフィック：日本、インド、オーストラリア、ニュージーランド
 南アメリカ：チリ、コロンビア、ペルー、アルゼンチン、エクアドル、ボリビア、ブラジル、ウルグアイ
 中央アメリカ：パナマ、グアテマラ、ホンジュラス、エル・サルバドル、コスタリカ
 ヨーロッパ：スペイン
 北アメリカ：メキシコ、USA
 ※赤太字：現地法人有
 ※青太字：投資している販売代理会社有（将来的に子会社化）



M&Aも活用し、グローバル展開可能な体制を構築済

	グループ 参加年	保有議決 割合	主要な事業の内容
データセクション株式会社 	2000	—	データ分析の技術力で実社会の変革（企業の業務改善や消費者生活の向上）を推進
株式会社ディーエスエス 	2018	100.0 %	金融系システム運用保守及びアプリケーション開発
Jach Technology SpA 	2019	100.0 %	チリにおけるリテールマーケティング事業
Alianza FollowUP S.A.S. 	2019	100.0 %	コロンビアにおけるリテールマーケティング事業
INTELIGENXIA S.A. 	2021	100.0 %	中南米におけるリテールマーケティング事業
ソリッドインテリジェンス株式会社 	2013	86.9%	多言語ソーシャルメディア分析・コンサルティング事業

自らも成長過程にありかつ、グローバルな新興マーケットにも幅広く事業展開している当社グループの特性に鑑み、今後も一層SDGsに貢献



8.3

生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する



9.3

特に開発途上国における小規模の製造業その他の企業の、安価な資金貸付などの金融サービスやバリューチェーン及び市場への統合へのアクセスを拡大する

9.b

産業の多様化や商品への付加価値創造などに資する政策環境の確保などを通じて、開発途上国の国内における技術開発、研究及びイノベーションを支援する

自らも成長過程にありかつ、グローバルな新興マーケットにも幅広く事業展開している当社グループの特性に鑑み、今後も一層SDGsに貢献

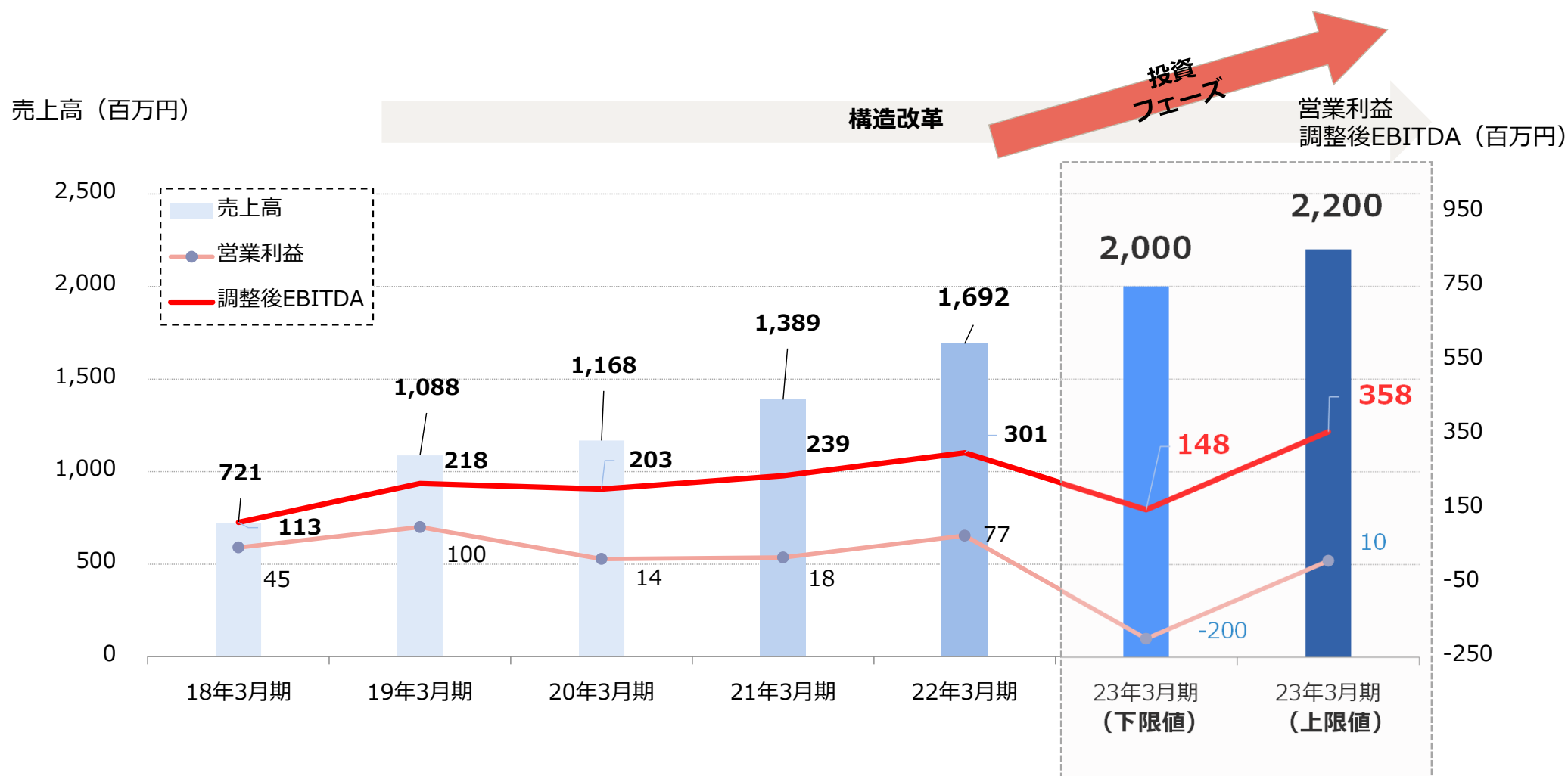


17.5
後発開発途上国のための投資促進枠組みを導入及び実施する

17.16
全ての国々、特に開発途上国での持続可能な開発目標の達成を支援すべく、知識、専門的知見、技術及び資金源を動員、共有するマルチステークホルダー・パートナーシップによって補完しつつ、持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する

17.17
さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する

- ・ **トップライン成長を維持しつつ、投資フェーズに転換**
- ・ **事業・人材・基盤等、必要な投資を確り行い、実質の事業キャッシュフローとして重視する調整後EBITDAベースで増益を展望（上限値）**



テーマ

構造改革の完遂と、将来の収益基盤構築に向けた投資フェーズへの転換

基本方針

●投資の加速化

- －成長スピードの速い海外への戦略的な**事業投資推進**
(M&A等のインオーガニックな成長も有効な選択肢と認識)
- －各事業の安定的な運営・成長を担う**人材採用強化**
- －受注・顧客層拡大に資する**新規プロダクトの開発およびプロモーション費用投下**

●成長を下支えする基盤強化

- －グローバルな成長・規模拡大に伴う**経営体制・管理部門の機能強化**
- －組織強化のための**人事関連制度の再構築、電子化等の社内DX推進**
- －**ESG、SDGs、ダイバーシティ等への取組強化**



国内

- 販促及び、デジタルマーケティング等で得られたリード・商談件数に対応すべく、人材採用を強化
- 顧客ニーズを踏まえた機能のエンハンスによる顧客単価向上、また、ターゲット市場拡大のため、業種特性等顧客ニーズに最適化した新サービスの市場投入を目指す

海外

- PMIとして一定のオーガニックな成長を進行
- 大型のショッピングモールを運営するディベロッパーへのアプローチを開始しており、FollowUPのモールへの一括納入等、案件の大型化と投資を見込む
- 特に南米圏においては、現地代理店・競合等を傘下に取り込む、域内での面戦略が有効

人材
強化

プロダクト
投入

事業
投資

M&A
等



- 当社においては、効率的なアサインが可能な人材強化を進め、リテールマーケティング事業とのシナジーが狙える大型案件の獲得を目指す
- 連結子会社ディーエスエスでは、受注の安定性に対するリソースの不安を解消すべく、人材と体制を強化



- 当社においては、Insight Intelligence Q等プロダクトの機能・サービスを見直すとともに、稼働率の観点から受注体制の効率化を推進
- 連結子会社ソリッドインテリジェンスでは、得意領域であるインバウンド・官公庁案件の安定的な受託を目指す



- 民間企業やパブリックセクターとの連携による、AIでの医療系データ解析案件等に注力
- 小売業向けの新規事業開発の継続



We **ARE** ...

世界のデータ部（セクション）として

Vision : What we will be ...

人々の暮らしを世界中でバージョンアップし続ける

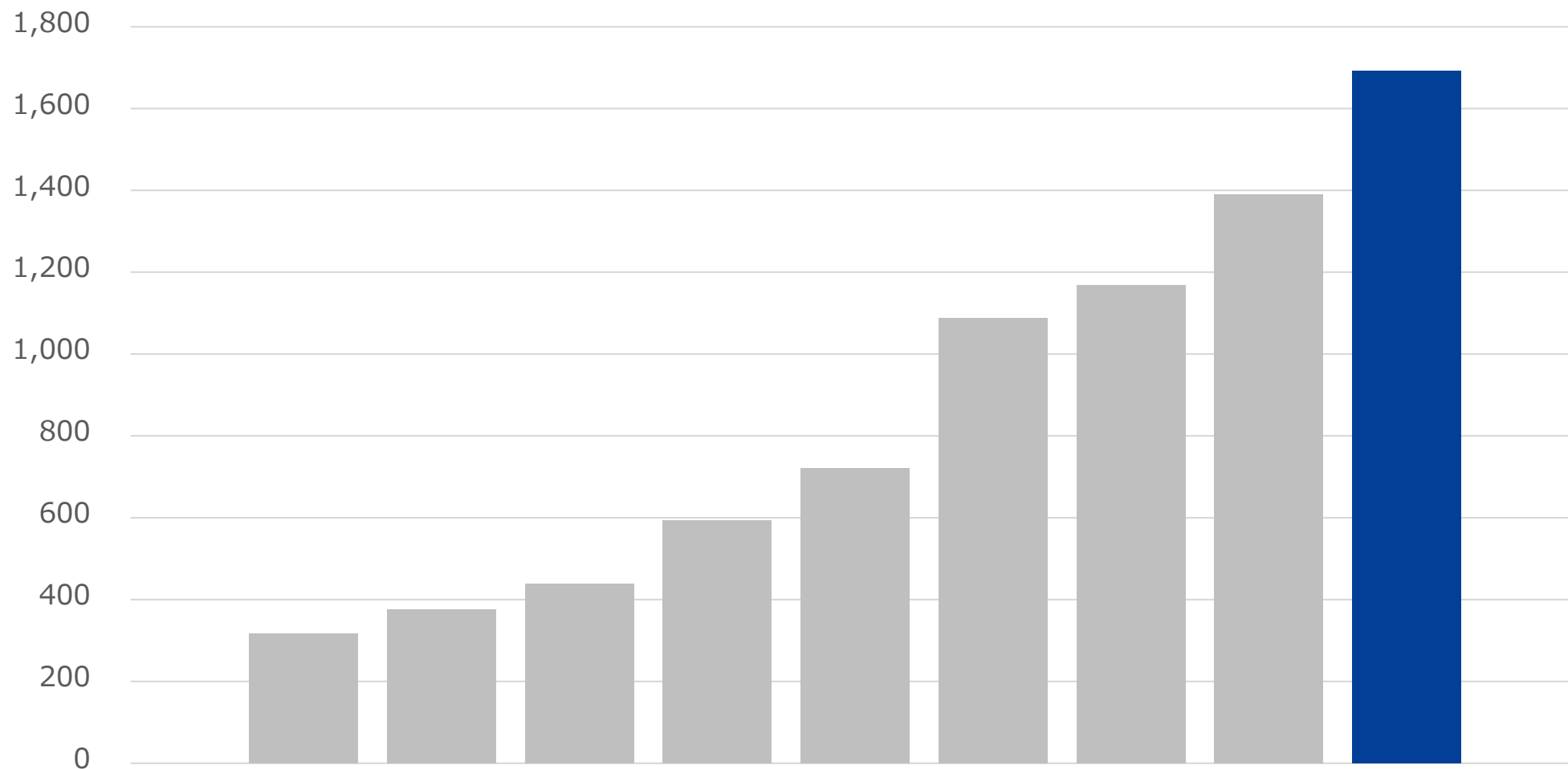
Mission : What we should do...

Change the Frame

テクノロジーで実社会に変革をもたらし、
新しい暮らしをつくりあげる

ご清聴ありがとうございました。

4 . Appendix



決算期

14/3

15/3

16/3

17/3

18/3

19/3

20/3

21/3

22/3

売上高
(百万円)

317

376

439

593

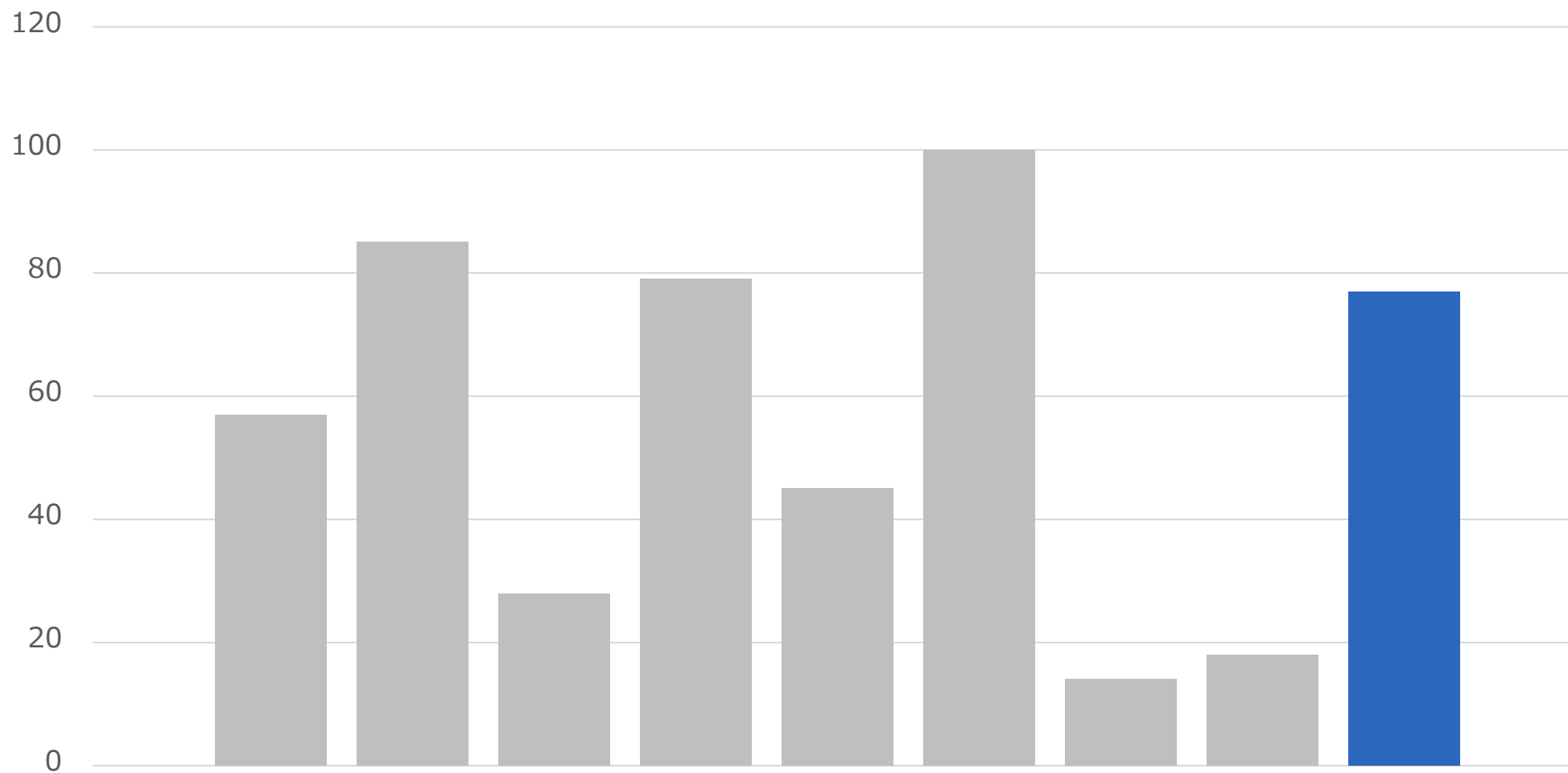
721

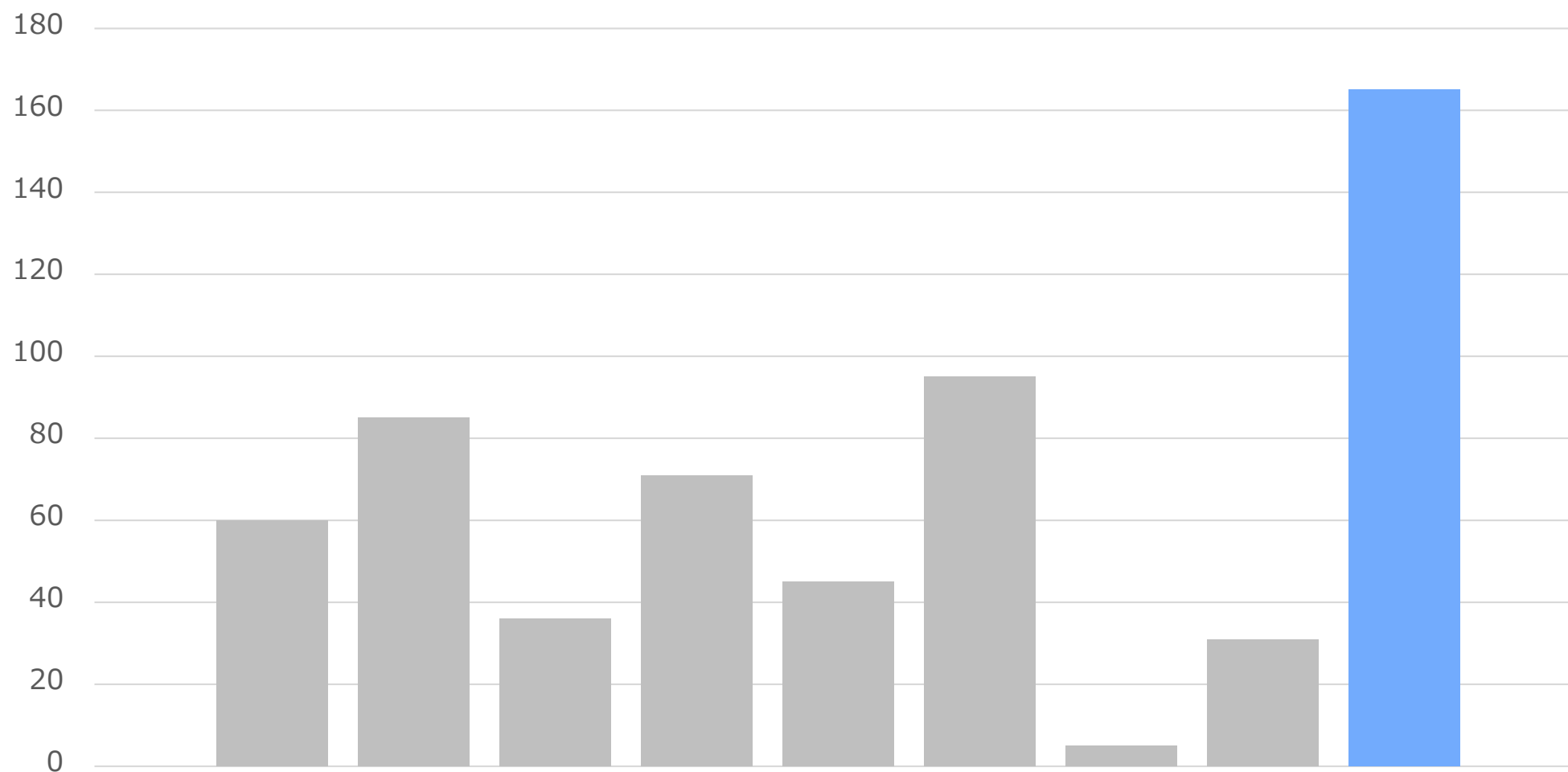
1,088

1,168

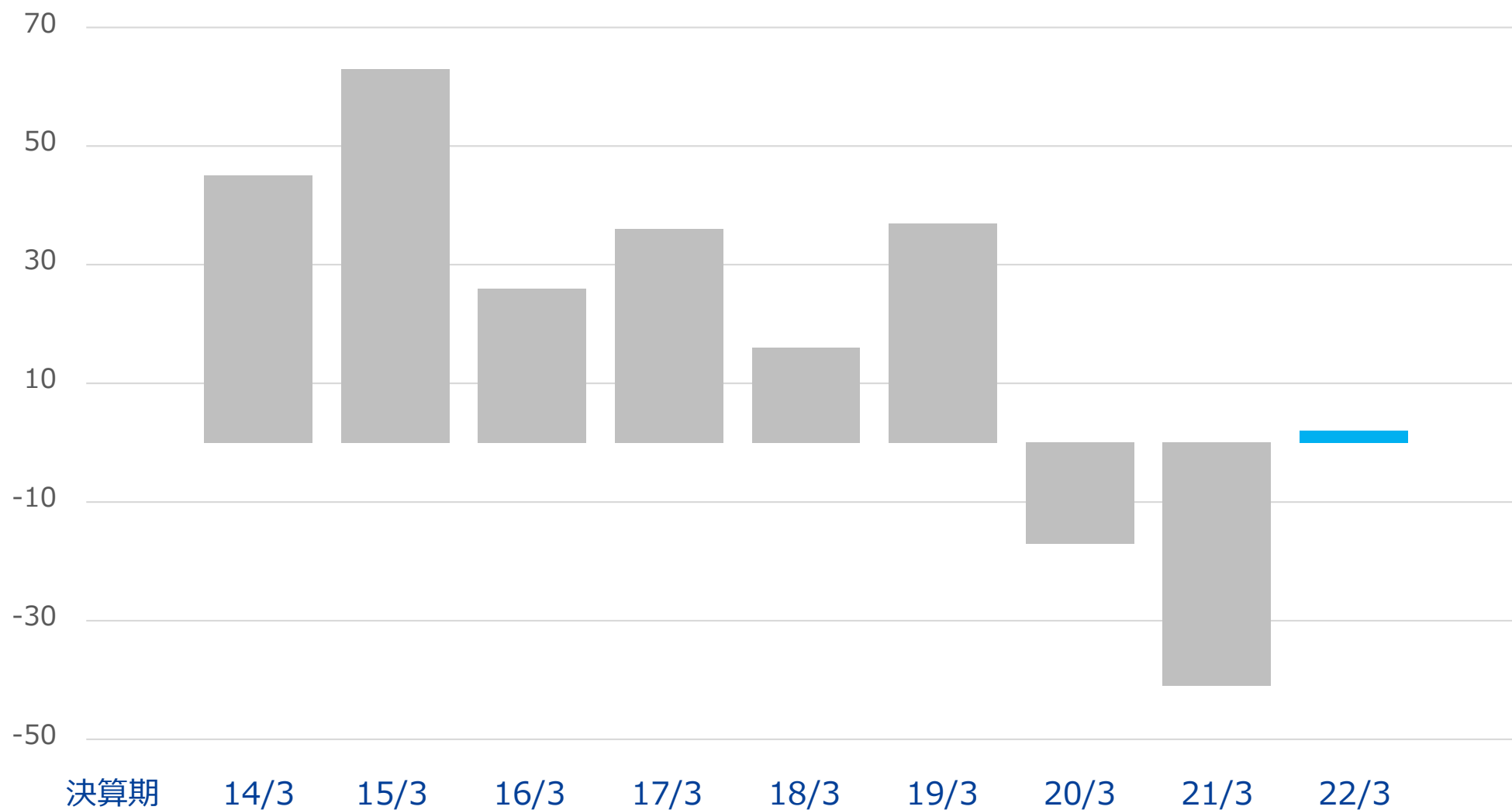
1,389

1,692

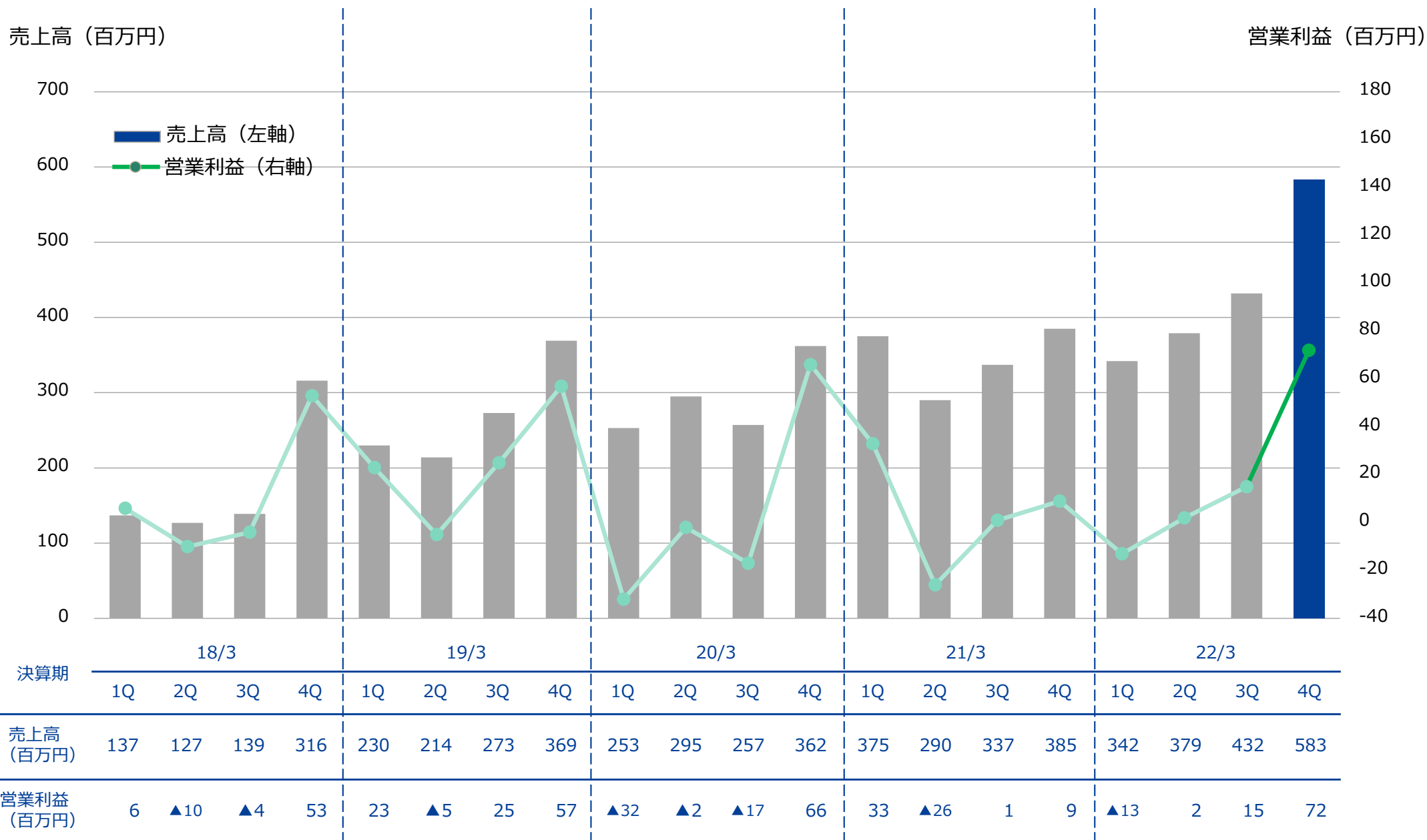




決算期	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3
経常利益 (百万円)	60	85	36	71	45	95	5	31	165



親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



データセクション株式会社

info@datasection.co.jp
03-6427-2565

〒141-0031

東京都品川区西五反田 1 丁目 3 - 8 五反田PLACE 8階

<https://www.datasection.co.jp>

- 本資料は投資家の参考に資するため、当社の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。